

東京大学履修証明プログラム

令和6(2024)年度「職域・地域架橋型-価値に基づく支援者育成」 職域架橋型コース(C-1)・地域連携型コース(C-2) 募集要項

1. プログラムの目的及び内容

患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる人材を育成する。

- ・Trauma-Informed care (トラウマが存在する可能性を熟知して支援にあたること)、
 - ・Co-Production (当事者と回復を共同創造できること)、
 - ・Organizational Change (これらの理念を実践できるよう組織を変革すること)、
- をコアとなる素養と位置づけ、これらを身につけるよう、実践的な学習を深める。

上記の三つの素養の獲得を通じて、患者の価値に基づく支援(Values-informed service)を行う能力が身につく。また所定の時間(年間63時間)を修了した際に授与される履修証明により、患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる高度な医療人材であることを客観的に明らかにすることができる。

- ・職域架橋型コースは、心理系職員等の総合病院等の医療のなかで多職種協働ができる、あるいは医療と協働できる人材の育成をめざす。
- ・地域連携型コースは、行政職員や精神保健福祉士等の医療と地域(教育、保健、福祉、行政)の連携をコーディネートできる人材の育成をめざす。

2. 応募資格

(1)(2)双方を満たす方

(1) 4年制大学卒業者、または大学卒業者と同等以上の学力を有すると認められた22歳以上の方

(2) 医療、学校、行政(保健・福祉)などの領域で対人支援職を目指す方

または既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

3. 募集人員

職域架橋型コース(C-1) 40名

(医療をはじめとする様々な領域で心理支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が対象。看護、精神保健福祉、作業療法、薬剤、栄養、学校教育など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアセスメントに基づく支援力向上を目指す方等も対象を含む。)

地域連携型コース(C-2) 60名

(主に行政、社会福祉、学校教育、NPO法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象。医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会的支援の視座を深めたい方等も対象を含む。)

4. 受講期間

2024年4月～2025年3月

5. 開催形式

基本的に全日程、東京大学(本郷)構内で行う。

※東大本郷キャンパス(文京区本郷 7-3-1)

※対面とオンラインのハイブリット対応や録画配信はなし

※外部実習の会場については、決まり次第受講生に通知する

6. 受講内容

C-1 コース

精神医学・発達精神医学、心理検査、心理療法、研究法、精神分析の講義や演習(8時間×6日=48時間)と外部実習2日間=15時間)。

C-2 コース

共同創造の時代のメンタルヘルス、精神保健サービスの構築と質の評価、地域保健の現場、地域連携といったテーマの講義や演習(8時間×6日=48時間)と外部実習2日間=15時間)。

(詳細は別紙プログラム一覧参照)

※両コースともに、講師とのインタラクティブな交流や、受講生同士の学び合いも大切にしており、講義内にグループワークやディスカッションの時間も設けられている。

※C-1とC-2は別々のコース。

※C-1,C-2の両方の申込みも可能。(両コースの申込の場合も、1通の封筒で送付すること。)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する東京大学の方針に従い外部実習に関しては変更の可能性がある。

※基本的に、全履修時間の8割の出席で履修証明対象となる。

7. 出願書類

(1) **履歴書**(※指定の様式で作成)

(2) **エントリーシート**(※指定の様式で作成)

※履歴書・エントリーシート様式→<https://co-production-training.net/application/>

(3) **志願理由書**(用紙サイズはA4で1枚、様式は自由)

(4) **応募資格(1)を証明する書類**

大学または大学院の卒業証書や在学証明書等の写し等

応募資格(2)を証明する書類

免許の写し等

資格未取得等の場合には必須ではない。

※いずれも写しの用紙サイズはA4。卒業・修了校の在宅勤務体制などにより、出願期限に写しの用意が間に合わない場合や証明書記載の氏名が旧姓の場合、その旨わかるようにメモを添えて出願すること。その場合、後日、証明書類が揃い次第、希望コース・氏名を明記し別便で送付すること。卒業証書や在学証明書を成績証明書で代替することはできない。

(5) **結果通知用封筒**

定形封筒(長形3号)に84円切手を貼り、出願者本人の住所・宛名を記入したもの。

8. 出願先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F 精神神経科 TICPOC 事務局

9. 出願期間

令和 5 年（2023 年）11 月 20 日～令和 6 年（2024 年）1 月 5 日（消印有効）

書類をもとに審査・選考する。

なお、必要に応じて、オンライン面接を実施する場合があります。面接予定者には 1 月 24 日までに連絡する。

10. 選考発表及び受講手続き

令和 6 年（2024 年）1 月 31 日。選考の結果を同日までに郵送又は電子メールにて通知する。

受講を認められた方には関係書類を送付する。

11. 受講料

各コース 1 年間 9 万円（学生は 5 万円）

C-1・C-2 両コース受講の場合 1 年間 15 万円（学生は 8 万円）

他コース（A・B・D-1・D-2 コース）との併願も可能だが、その場合は受講料の割引はない。

※単回受講について

他コース（A・B・D-1・D-2 コース）の受講者が本コースの講義を単回受講する場合は、1.5 万円/日（学生は 0.8 万円/日）の受講料となる。

C-1 コースの受講者が C-2 コースの講義を単回受講する場合等も同様。

12. 問い合わせ先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRCA 棟 1F 精神神経科 TICPOC 事務局

E-mail : utokyo.coproduction.training@gmail.com

URL : <http://co-production-training.net/>

13. その他

応募書類は本応募の用途に限り使用し、事務局が責任をもって破棄する。

2024 年度プログラム

- 時間 9:00-18:00 オリエンテーションや振り返りを含みます。(コアタイム 10:00～16:45。初回 4/21 の時間は別途お知らせします。)
※他に外部実習あり、詳細は講義初日にご説明します。
- 形式 基本的に全日程、東京大学(本郷)構内で行います。東大本郷キャンパス(文京区本郷 7-3-1)
※対面とオンラインのハイブリッド対応や録画配信はありません。
- 司会 東京大学医学部附属病院 精神神経科 笠井清登・熊倉陽介・金原明子、東京武蔵野病院 高橋優輔・栃木県立岡本台病院 田尻智哉 他
- その他 講師、講義タイトル、内容は変更となる可能性があります。

C-1 職域架橋型コース			
5/26(日)	午前	患者・家族の言葉からみえてくるがん療養生活	赤穂理絵 東京女子医科大学神経精神科准教授
	午後	総合病院の心理臨床と支援者支援	舘野由美子 千葉ちよ 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 心理部室長 臨床心理士/公認心理師 東京医療センター精神科 臨床心理士/公認心理師
10/20(日)	午前	複雑なトラウマを抱える人の支援と回復	野坂祐子 大阪大学大学院 人間科学研究科教授
	午後	見えない心を可視化する ー心理アセスメントによるケース理解ー	中村紀子 中村心理療法研究室 治療のアセスメント・ アジアパシフィックセンター臨床心理士
12/15(日)	午前	精神分析	池田暁史 大正大学心理社会学部教授
	午後	困難事例に精神分析的視点を活用するには	若佐美奈子 神戸女学院大学心理学部准教授
2025年 2/16(日)	午前	22q11.2欠失症候群 -重複する障害を抱えた子どもとその家族の生活-	「22 HEART CLUB～ 22q11.2欠失症候群の子どもとその親が集うサークル」会員 22 HEART CLUB
	午後	当事者としての治療者の強さと弱さ	富樫公一 甲南大学文学部教授
C-2 地域連携型コース			
6/16(日)	午前	被害者支援～TICに基づく支援と支援者支援～	鶴田信子 被害者支援都民センター心理相談担当責任者
	午後	薬物依存症をもつ人を地域で支える	松本俊彦 国立精神・神経医療研究センター部長
9/8(日)	午前	ピアサポートワーカーとコ・プロダクション	宮本有紀 里村嘉弘 佐々木理恵 東京大学大学院医学系研究科准教授 東京大学医学のダイバーシティ教育研究センター准教授 東京大学医学のダイバーシティ教育研究センター 学術専門職員・ピアサポートワーカー
	午後	東日本大震災被災地におけるメンタルヘルス対策	大塚耕太郎 岩手医科大学医学部神経精神科学講座教授
2025年 1/26(日)	午前	臨床心理学の社会論的転回	東畑開人 白金高輪カウンセリングルーム 主宰・臨床心理士
	午後	当事者と専門職による協働する研究・支援の先に見えたもの	山口創生 山田悠平 国立精神・神経医療研究センター室長 精神障害当事者会ポルケ代表理事
2025年 3/2(日)	午前	地域における退院支援・若者支援の実践と人材育成	田尾有樹子 社会福祉法人巢立ち会理事長
	午後	精神障害にも対応した地域包括ケアと権利擁護	藤井千代 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部長
C-1・C-2 合同講義			
4/21(日)	午前	当事者研究	熊谷晋一郎 綾屋紗月 上岡陽江 東京大学先端科学技術研究センター准教授 東京大学先端科学技術研究センター特任准教授 ダルク女性ハウス代表
	午後	多職種協働における折衷主義から多元主義へ Values-based practice ー価値観の多様性に向きあう実践医療倫理ー	村井俊哉 榎原英輔 京都大学大学院医学研究科教授 東京大学医学部附属病院講師
10/6(日)	午前	トラウマインフォームドケアと トラウマ焦点化治療	亀岡智美 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長
	午後	『責任、帰責性、「自己責任」』	國分功一郎 熊谷晋一郎 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授 東京大学先端科学技術研究センター准教授